



イ14  
A 792  
2

極秘

第一種

本参  
部  
權第二〇號ノ一〇



明治三十一年五月二十八日米國 Tennessee 州

Chattanooga 發

陸軍砲兵少佐 帶五郎 第八報告

米國陸軍動員及編制ニ関スル雜聞

(1) 五月二十六日米大統領ハ目下募集中ナル十二万五千ノ義勇兵ノ外更ニ七万五千ノ義勇兵ヲ募集スヘキコトヲ發令セリ然レモ果シテ何日ヨリ其募集ヲ始ムヘキヤハ未定ナリ聞ク所ニ依レハ此新募兵ハ第七報告ニ所謂七軍團ト菲律賓遠征軍トヲ満員ニ充實スルニ爲メニシテ更ニ他ノ軍團ヲ増加セラル、コトナカラント云フ而シテ各州ニ新クニ配當セラルヘキ募集兵ノ員數ハ第一回募集即チ先キニ十二万五千ヲ配當セラレタル時ト同割合ヲ以テ

265

2-2



セラルヘシト云フ

因ニ云フ第六報告中各州ニ於テ募集編制スヘキ  
隊数及其集合地ノ確否ニ付多少疑ヲ存セシ  
カ其後正確ナルヲ認メ得タリ但シ二三部隊ノ集  
合点ヲ更改セラレタルモノナキミアラス

又同報告第五葉第六行ニ Washington Cityト  
記セシハ Washingtonノ誤リナリ Cityノ字ヲ消  
除セラレタシ

(2) 常備歩兵第十五、第二十一、兩聯隊及常備騎兵第  
四、第七、第八ノ三聯隊ハ土蠻監視ノ為ノ内地ニ残  
サレタリシ然ルニ昨今聞ク所ニ依レハ土蠻ノ監視ハ  
全ク騎兵ニ委シ前述ノ兩聯隊ハ既ニ Tampaニ石  
集セラレタリト云フモノアリ未タ其正確ヲ知り得ス

(第七報告第五軍專ノ部参照)

(3) 常備歩兵第二十四、第二十五聯隊及同騎兵第九、第  
十聯隊ハ常ニ黑人ノミヲ以テ編制セラルト云フ

(4) 第五報告中常備歩兵聯隊ハ十中隊ヨリ成リ其  
二中隊ハ平時空員ナルヲ及ヒ此間ノ戰事ニ付此空  
員中隊ヲ充實中ナラントノ事ヲ記セシカ尚ホ詳細  
精査スルニ此間ノ戰事ノ為ノ俄ニ歩兵聯隊ノ編成  
ヲ改革レ歩兵聯隊ハ四中隊ヨリ成ル大隊三個ヲ  
以テ編制スルヲ定メ目下各軍管ノ補充所(各  
軍管司令部ノ所在ニ各一個ノ補充所アリ)ニ於  
テ新兵ヲ募集教練中ナリト云フ故ニ此増加兵ニ  
テ完全スル片ハ第五報告第三葉中戰時増員ノ  
3250ニ更ニ3400(六十八名ニ成ル中隊五十個人員)ヲ加フル

(10) 科卒業ニ至ラサレ民皆少尉ニ任命セラレタリ  
少將以下各階級ノ新任命日々盛ニナリ元來米  
國ノ定則ニ依レハ將官及常備軍將校ノ任命ハ  
陸軍大臣其人名ヲ大統領ニ具申シ大統領ハ之  
ヲ國會上院ニ提出シテ其認諾ヲ得而シテ後  
任命スルモノナリ昨今ノ有様ニテハ常備ノ大中佐  
ノ大部分少佐ノ一部分ハ旅專將官ニ昇進セリ  
其他議會ノ議員新聞記者等ニシテ將官トナ  
レルモノモ數多アリ此等ノ人々ハ多クハ地方ノ名望  
家ニシテ且ツ南北戰争中ニ或ハ各州民兵ニ関シ多  
少軍事ノ經歷アル人ナリト云フ常備ノ大中少佐  
既ニ將官トナルモノ多キニ隨テ伍長一等卒位ヨリ  
一躍大中尉トナルモノ多キハ亦夕自然ノ結果ナリト

ス  
義勇兵ノ大佐以下ニ在テハ各州ノ知事其州會ノ  
認可ヲ得テ任命スルヲ通例トス但シ他ノ若干州  
ノ義勇隊ニ在テハ隊兵自ラ自己ノ隊長以下ノ將  
校ヲ互擧投票ヲ以テ任命スルモノモアリト云フ而シテ彼等  
ノ多クハ各州民兵隊ヨリ轉入セルモノナリ  
(11) 義勇兵一聯隊ニハ常備將校一名ヲ限リテ附屬シ  
得ルノ定規アレシ義勇兵隊中自ラ一種ノ抱負ト感  
情アリテ現役將校ヲ容ルヲ好マス故ニ現役將校ヲ  
有ル隊ハ甚ク僅少ナリ又現役ヨリ義勇兵役ニ轉ス  
ルモノハ中少尉位ヨリ直ニ中佐ニ為ルヲ例トス但シ  
戰争終リ復員ノ片ハ戰役中殊功アリシ者ノ外ハ皆ナ  
原階級ニ歸復スル定規ナリト云フ

